

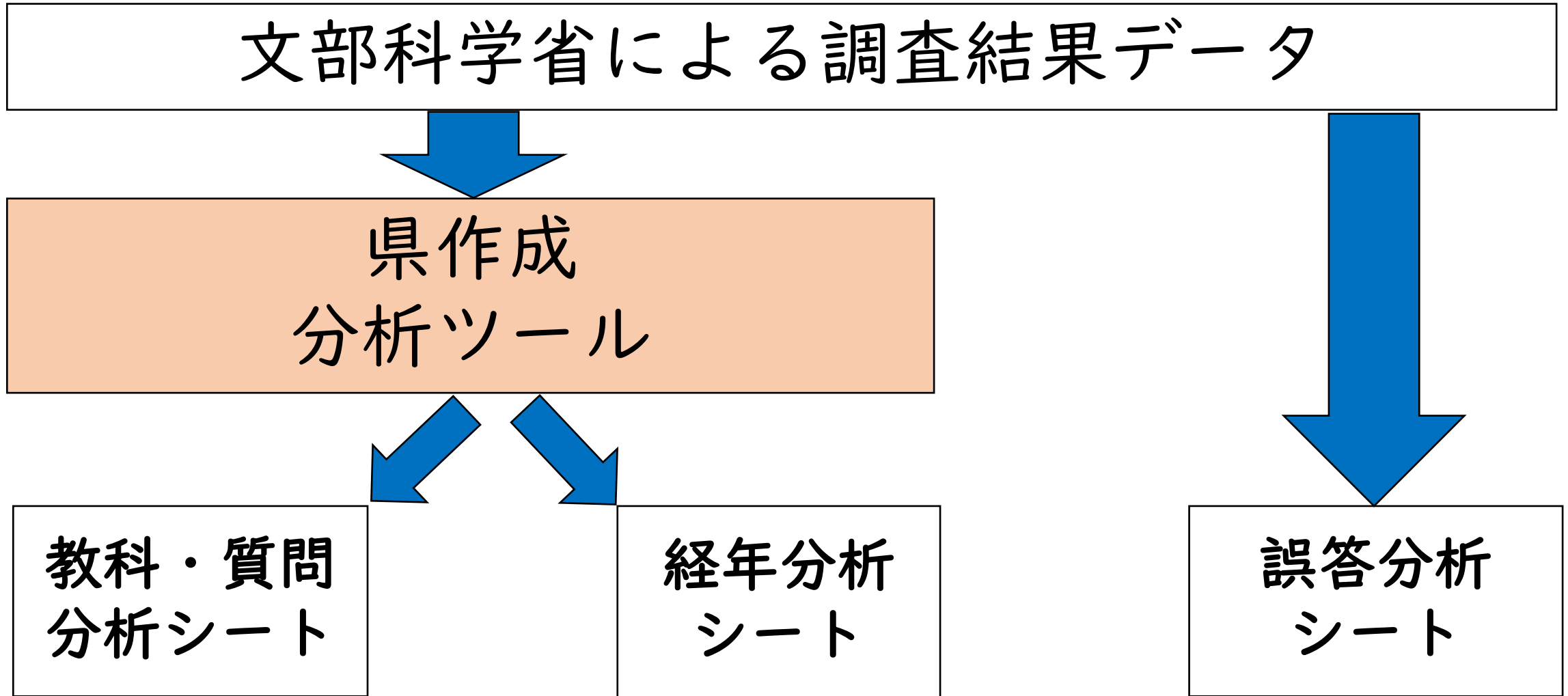
全国学力・学習状況調査の活用に係る動画

県の分析シートを活用した 結果分析について



千葉県総合教育センター

結果分析に活用する3つの分析シート



①教科・質問分析シート

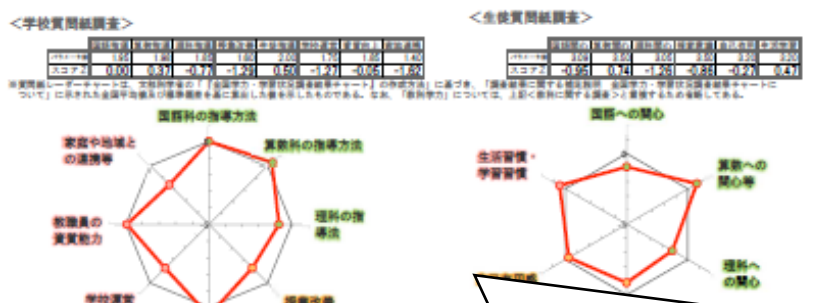
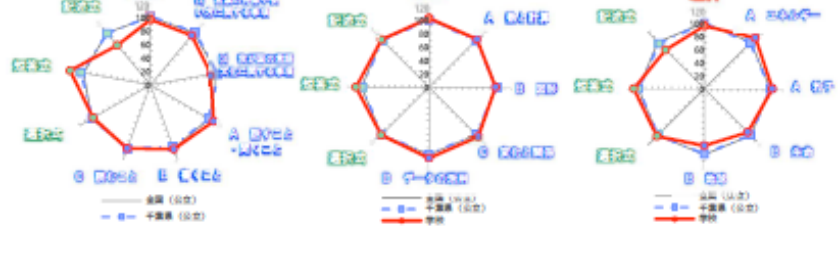
表面

令和4年度全国学力・学習状況調査
教科・質問紙分析【結果の概要】①
〇〇市立△△中学校

<教科に関する調査>

【国語】	教科名	正答率	平均値
1	国語	82.1	85.5
2	国語	85.2	88.1
3	国語	88.3	91.2
4	国語	91.4	94.3
5	国語	94.5	97.4
6	国語	97.6	100.5
7	国語	100.7	103.6
8	国語	103.8	106.7
9	国語	106.9	109.8
10	国語	110.0	112.9
11	国語	113.1	116.0
12	国語	116.2	119.1
13	国語	119.3	122.2
14	国語	122.4	125.3
15	国語	125.5	128.4
16	国語	128.6	131.5
17	国語	131.7	134.6
18	国語	134.8	137.7
19	国語	137.9	140.8
20	国語	141.0	143.9
21	国語	144.1	147.0
22	国語	147.2	150.1
23	国語	150.3	153.2
24	国語	153.4	156.3
25	国語	156.5	159.4
26	国語	159.6	162.5
27	国語	162.7	165.6
28	国語	165.8	168.7
29	国語	168.9	171.8
30	国語	172.0	174.9
31	国語	175.1	178.0
32	国語	178.2	181.1
33	国語	181.3	184.2
34	国語	184.4	187.3
35	国語	187.5	190.4
36	国語	190.6	193.5
37	国語	193.7	196.6
38	国語	196.8	199.7
39	国語	199.9	202.8
40	国語	203.0	205.9
41	国語	206.1	209.0
42	国語	209.2	212.1
43	国語	212.3	215.2
44	国語	215.4	218.3
45	国語	218.5	221.4
46	国語	221.6	224.5
47	国語	224.7	227.6
48	国語	227.8	230.7
49	国語	230.9	233.8
50	国語	234.0	236.9
51	国語	237.1	240.0
52	国語	240.2	243.1
53	国語	243.3	246.2
54	国語	246.4	249.3
55	国語	249.5	252.4
56	国語	252.6	255.5
57	国語	255.7	258.6
58	国語	258.8	261.7
59	国語	261.9	264.8
60	国語	265.0	267.9
61	国語	268.1	271.0
62	国語	271.2	274.1
63	国語	274.3	277.2
64	国語	277.4	280.3
65	国語	280.5	283.4
66	国語	283.6	286.5
67	国語	286.7	289.6
68	国語	289.8	292.7
69	国語	292.9	295.8
70	国語	296.0	298.9
71	国語	299.1	302.0
72	国語	302.2	305.1
73	国語	305.3	308.2
74	国語	308.4	311.3
75	国語	311.5	314.4
76	国語	314.6	317.5
77	国語	317.7	320.6
78	国語	320.8	323.7
79	国語	323.9	326.8
80	国語	327.0	329.9
81	国語	330.1	333.0
82	国語	333.2	336.1
83	国語	336.3	339.2
84	国語	339.4	342.3
85	国語	342.5	345.4
86	国語	345.6	348.5
87	国語	348.7	351.6
88	国語	351.8	354.7
89	国語	354.9	357.8
90	国語	358.0	360.9
91	国語	361.1	364.0
92	国語	364.2	367.1
93	国語	367.3	370.2
94	国語	370.4	373.3
95	国語	373.5	376.4
96	国語	376.6	379.5
97	国語	379.7	382.6
98	国語	382.8	385.7
99	国語	385.9	388.8
100	国語	389.0	391.9

教科に関する調査の
領域別、問題形式別の結果



質問紙調査の領域別の回答状況

裏面

令和4年度全国学力・学習状況調査
教科・質問紙分析【結果の分析】②
〇〇市立△△中学校

<教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析>

国語の調査結果にみられる特徴と現状	算数の調査結果にみられる特徴と現状	理科の調査結果にみられる特徴と現状
(例) ・全国と〇ポイント差がある ・記述式を…	(例) ・全国、県と比べて高得点 ・図形分野で…	(例) ・全国より低い ・観察や実験の方法が…

<質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析>

学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状	生徒質問紙調査の結果にみられる特徴と現状
(例) ・地域との連携は…	(例) ・自己有用感が…

<改善策・検証方法>

改善目標	改善方法 (どのような施策をいつ・どのように実施するかな)	検証方法 (いつ・どのように実施・評価するかな)
(例) ・記述式の無解答をテストで〇%減らしていく ・…	(例) ・授業で…	(例) ・ノート指導を振り返って、身につけているか… ・校内研修でノート指導について評価する…

裏面には、
国立政策研究所の解説資料や報告書を参考に、
学校での分析内容や改善方策、
検証方法等を書き込む

学校全体で検討する

②経年分析シート

【経年比較】

「教科に関する調査」と「質問調査」について、今年度調査を含め3回分まで経年分析可能

表面

令和4年度全国学力・学習状況調査
経年分析【結果の推移】①
〇〇市立△△中学校

<教科に関する調査>

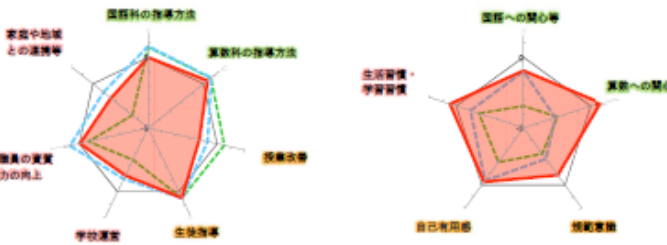
【国語】	2022			2023			2024		
	全国	北海道	東北	全国	北海道	東北	全国	北海道	東北
国語	84.4	84.9	85.3	84.4	84.4	84.4	84.4	84.4	84.4
算数	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
理科	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
社会	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
外国語	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
総合	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
道徳	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
体育	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
芸術	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
生活	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4



教科に関する調査の経年比較

<学校質問紙調査>

【国語】	2022			2023			2024		
	全国	北海道	東北	全国	北海道	東北	全国	北海道	東北
国語	84.4	84.9	85.3	84.4	84.4	84.4	84.4	84.4	84.4
算数	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
理科	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
社会	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
外国語	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
総合	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
道徳	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
体育	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
芸術	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4
生活	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4	74.4



質問紙の回答状況の経年比較

裏面

令和4年度全国学力・学習状況調査
経年分析【結果の分析】②
〇〇市立△△中学校

<教科に関する調査の結果にみられる成果と課題>

国語の調査結果にみられる成果と課題	数学の調査結果にみられる成果と課題
(例) ・全国との差が徐々にひらいている ・読むことが...	(例) ・年々上昇していて今年度は全国を上回る平均正答率であった

<質問紙調査の結果にみられる成果と課題>

学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題	生徒質問紙調査の結果にみられる成果と課題
(例) ・地域との連携は...	(例) ・自己有用感が...

<改善策・検証方法>

改善目標	改善方法 (どのような取組をいつ・どの程度行うか)	検証方法 (いつ・どのように検証・評価するか)
(例) ・記述式の無解答をテストで○%減らしていく ・...	(例) ・授業で...	(例) ・ノート指導を振り返って、身につけているか... ・校内研修でノート指導について評価する...

備考

【裏面】
教科・質問分析シートと同様に、自校の調査結果を分析し、改善方策や検証方法等を書き込んで記録する



校内研修を活用し、職員全体で共通理解を図ることが大切

③ 誤答分析シート

教科を選択

左側

右側

令和5年度全国学力・学習状況調査		誤答分析シート		〇〇〇立〇〇学校		教科	算数	R05																																																																																																
① 課題の見られた設問：誤答の解答類型別反応率が高い				② ①で着目した解答類型とその誤答の原因																																																																																																				
<p>※大字かつ下線付きの箇所の設問が、正答を表す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">問題番号</th> <th rowspan="2">問題の概要</th> <th colspan="10">正答</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">4 (1)</td> <td rowspan="5">示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す</td> <td>39.1</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>29.1</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.7</td><td>0.0</td> </tr> <tr> <td>49.0</td><td>0.0</td><td>1.7</td><td>0.5</td><td>12.7</td><td>0.4</td><td>7.1</td><td>0.7</td><td>6.4</td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>0.0</td><td>0.0</td><td>1.4</td><td>0.4</td><td>11.0</td><td>0.3</td><td>7.2</td><td>0.8</td><td>4.4</td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>1.1</td><td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.4</td><td>1.5</td><td>1.6</td><td>1.7</td><td>1.8</td><td>1.9</td><td>2.0</td> </tr> <tr> <td>0.0</td><td>0.7</td><td>4.3</td><td>3.7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>4.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.0</td><td>2.0</td><td>2.7</td><td>2.7</td><td></td><td></td><td></td><td>3.4</td><td>4.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.0</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>1.7</td><td></td><td></td><td></td><td>2.3</td><td>3.3</td> </tr> </tbody> </table>				問題番号	問題の概要	正答										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	4 (1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	39.1	0.0	0.0	0.0	29.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	49.0	0.0	1.7	0.5	12.7	0.4	7.1	0.7	6.4	0.5	0.0	0.0	1.4	0.4	11.0	0.3	7.2	0.8	4.4	0.5	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	0.0	0.7	4.3	3.7					0.0	4.3			0.0	2.0	2.7	2.7				3.4	4.1			0.0	1.5	1.8	1.7				2.3	3.3	<p>解答類型5の反応率が26.1%である。このように解答した児童は、「回転する角の大きさについての命令を選ぶことができているが、正三角形の角の大きさに着目できているが、回転する向きについては右と記述しており、回転する角の大きさについては誤って60°と記述している」と考えられる。</p>				
問題番号	問題の概要	正答																																																																																																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																													
4 (1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	39.1	0.0	0.0	0.0	29.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0																																																																																													
		49.0	0.0	1.7	0.5	12.7	0.4	7.1	0.7	6.4	0.5																																																																																													
		0.0	0.0	1.4	0.4	11.0	0.3	7.2	0.8	4.4	0.5																																																																																													
		1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0																																																																																													
		0.0	0.7	4.3	3.7					0.0	4.3																																																																																													
		0.0	2.0	2.7	2.7				3.4	4.1																																																																																														
		0.0	1.5	1.8	1.7				2.3	3.3																																																																																														
<p>③ ②にみられる課題、その課題を解決するために必要な力</p> <p>本設問は、第3学年の二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目することや第4学年の角の大きさを回転の大きさとして捉えることなどの学習により、図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察して、改善することができる力が必要である。</p>				<p>④ ③の力をつけるための指導方法、課題の改善方策、(いつ、どこで、どのような指導をするか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正三角形の意味や性質を基に、コンピュータを用いて正三角形を作図するとき、正方形のプログラムを基に作成した正三角形のプログラムについて見直し、改善する活動を行う。 ・正三角形を作図できなかった場合には、試行錯誤しながら、回転する角の大きさを120°にする必要があることに気づき、その理由を説明する活動を行う。 ・コンピュータを用いると、角の大きさを変えるだけでなく図形を作図できるため、正三角形を作図できた場合でも、それだけで終わるのではなく、回転する角の大きさを120°にした理由 																																																																																																				
<p>⑤ ④の力を高めるための指導方法、課題の改善方策、(いつ、どこで、どのような指導をするか。)</p>				<p>⑥ ⑤の力を高めるための指導方法、課題の改善方策、(いつ、どこで、どのような指導をするか。)</p>																																																																																																				

重要なのは適切な設問の選定です！

文部科学省から提供されたデータの中の「問題別（解答類型）調査結果」のファイルから「誤答の解答類型別反応率が高い設問」のデータをそのまま貼り付けます。具体的には、誤答の解答類型別反応率が10%以上の設問や、無解答の割合が高い設問を選択します。

誤答分析に適切な設問を選定し必要部分を貼り付け

文部科学省発行の「解説資料」の「解答類型について」や、「報告書」の「2. 分析結果と課題」を参考に書きます。

文部科学省発行の「報告書」の「学習指導要領における領域・内容」や「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。

文部科学省発行の「報告書」の「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。

校内研修など学校全体で協議の上で改善方策等を記入して作成完了

「誤答分析シート」の作成に係る適切な設問の設定

03 問題別（解答類型）調査結果

（R5：小学校サンプル）

正答

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する	61.7	16.7	0.0	8.3	0.0				8.3	17.0
		79.3	16.1	0.3	0.2	0.5				2.2	1.3
		80.8	14.9		0.3	0.5				2.1	1.2

1	◎	2000 と解答しているもの
2		200 と解答しているもの
3		20 と解答しているもの
4		20000 と解答しているもの
5		900 と解答しているもの 90 と解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

誤答への反応率

【解答類型2】

16.7%

目安として誤答への反応率が10%以上の解答類型に着目する

分析シートを活用した実践例

結果提供後の活用

① 「分析シート」の出力【教務主任】

- ・ 誤答分析シート：結果提供直後～
- ・ 分析ツールから作成する2つのシート：8月下旬～

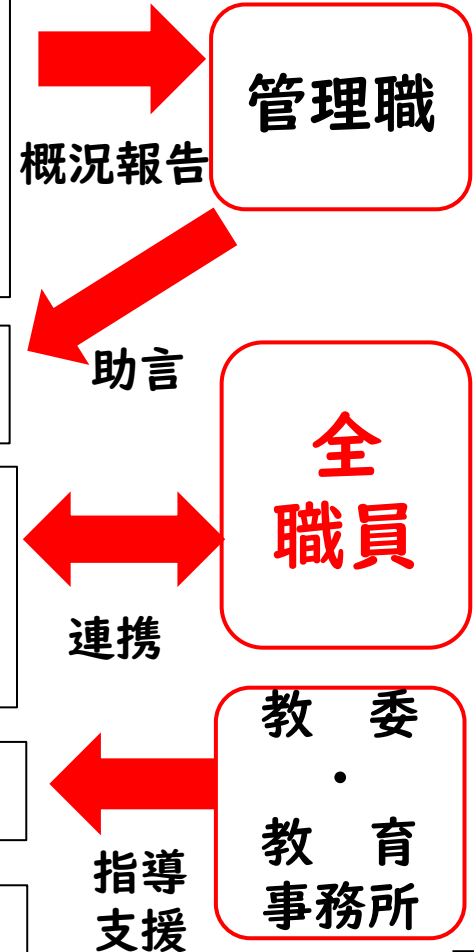
② 「分析シート」を活用した校内研修の企画【研究主任】

③ 校内研修の実施【研究主任】

- 例)
- ・ 「誤答分析シート」で、自校の課題、改善策の検討
 - ・ 「経年分析シート」で、自校の研究の振り返り、改善策や研究主題の検討

④ 授業改善に向けた研究（指導案検討・校内相互参観など）

⑤ 実践の評価、さらなる改善の検討へ



結果分析の際に役に立つ資料

国立教育政策研究所発行

解説資料



報告書（授業アイデア例）



授業アイデア例 「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解する
～「現代語訳」を活用して、古典作品を楽しむ～

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】
設問三 正答率 50.5%
〔第1学年〕知識及び技能 ③
ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。
〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等 C
エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

- 教材**
- 星新一『竹取物語』（令和5年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語4）、学校図書館にある分かりやすい現代語訳の「竹取物語」
 - 教科書に掲載されている「竹取物語」

- 学習の流れ**
- 第1時
- 1 学習の見通しをもつ。
 古典の中には、絵本や映画などで幅広い世代に親しまれている作品がたくさんあります。その一つである、「竹取物語」を読んでみましょう。まず、「竹取物語」について、皆さんが知っていることを基に、どのような作品なのかを確認しましょう。
 - 2 グループで、「竹取物語」について知っていることを出し合い、出された知識をホワイトボードに整理する。
 - 3 グループごとにまとめたホワイトボードを基に、「竹取物語」の作品の特徴（成立時代、作品の種類、あらすじ等）を全体で確認する。
 - 4 教科書に掲載されている「竹取物語」の冒頭の部分の原文と現代語訳を音読し、古文の特徴を捉える。
 小学校で学習したことを思い出しながら、「竹取物語」の冒頭の部分の原文と現代語訳を音読しましょう。そして、思い出したことや気付いたことについて交流しましょう。

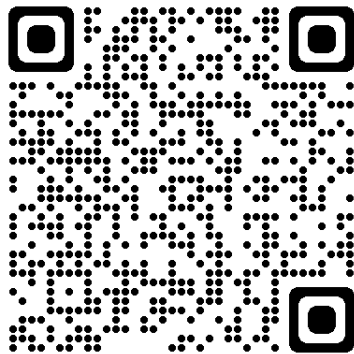
国政研のホームページからダウンロードできます。（報告書は令和5年度のものです。）

結果分析の際に役に立つ資料

「全国学力・学習状況調査活用の手引き」の活用

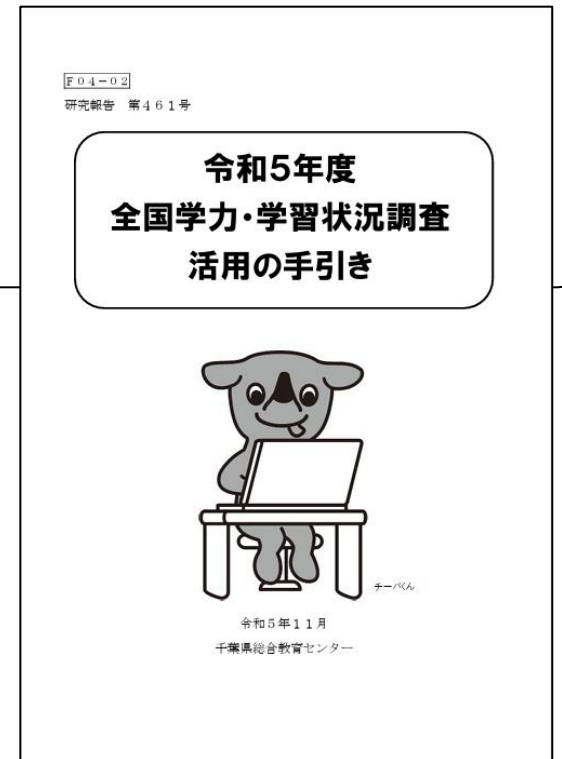
- 調査結果の分析をまとめ、学校現場で活用しやすい形で作成
- 「授業改善」や「学校改善」に役立つ資料を掲載

※県総合教育センターwebページでダウンロード可能



千葉県総合教育センターwebページ

<https://www.ice.or.jp/nc/investigation/gakuryoku>



全国学力・学習状況調査の活用に係る動画

県の分析シートを活用した 結果分析について



千葉県総合教育センター